

6.20 景觀

6.20 景観

6.20.1 調査

(1) 調査の概要

1) 文献その他の資料調査

本調査における文献その他の資料調査の概要は表-6.20.1.1及び表-6.20.1.2に示すとおりです。

表-6.20.1.1 文献その他の資料調査の概要 (1/2)

	調査項目	調査位置	調査時期
主要な眺望点及び視点場の状況	[環境省等による調査]		
	「第3回自然環境保全基礎調査(現存植生図、自然環境情報図)」(平成元年、環境庁)	日本全国	平成元年
景観資源の状況	「第4回自然環境保全基礎調査(自然環境情報図)」(平成7年、環境庁)	日本全国	平成7年
	「第4回自然環境保全基礎調査(現存植生図)」(平成6年、環境庁)	日本全国	平成6年
主要な眺望景観の状況	「第5回自然環境保全基礎調査(現存植生図、海域生物環境調査)」(平成11年、環境庁)	日本全国	平成11年
圍繞景観の状況	「国・県・市町村指定文化財総括表」(平成20年10月現在、沖縄県文化課資料)	沖縄県	平成20年
	「美ら島ー沖縄県観光情報ファイルー」(平成15年10月、(財)沖縄観光コンベンションビューロー)	沖縄県	平成15年
	「名護市勢要覧」(平成15年5月、名護市)	名護市	平成15年
	「名護市役所ー名護市トップページ」(平成20年10月現在、 http://www.city.nago.okinawa.jp/)	名護市	平成20年
	「宜野座村勢要覧」(平成10年、宜野座村役場)	宜野座村	平成10年
	「宜野座村ホームページ」(平成20年10月現在、 http://www.vill.ginoza.okinawa.jp/)	宜野座村	平成20年
	「名護ガイドマップ」(平成19年、名護市観光協会・名護市商工観光課)	名護市	平成19年
	「あけみおのまち」(平成19年、名護市観光協会・名護市商工観光課)	名護市	平成19年
	「名護市の名木」(昭和59年3月、名護市教育委員会)	名護市	昭和59年
	「沖縄の海と釣り」(昭和61年7月、琉球新報社)	沖縄県	昭和61年
	「沖縄の潮干狩りとキャンプ場マップ」(平成12年8月、フィッシング沖縄社)	沖縄県	平成12年

表-6.20.1.2 文献その他の資料調査の概要 (2/2)

調査項目	調査位置	調査時期	
主要な眺望点及び視点場の状況 景観資源の状況 主要な眺望景観の状況 囲繞景観の状況	[事業者による調査]		
	現地踏査	図-6.20.1.1に示す陸上部	平成19年5月9・16日、6月7・8日、6月27日、8月10日
		図-6.20.1.1に示す海上部	平成19年6月27日
	ヒアリング	12ヶ所	平成19年7月17・19～21・26日、8月15日
	主要な眺望点及び視点場の状況	図-6.20.1.1に示す陸上部	平成19年5月9・16日、6月7・8日、6月27日、8月10日
		図-6.20.1.1に示す海上部	平成19年6月27日
	景観資源の状況	図-6.20.1.2に示す30地点	平成19年8月20～23・26・28・29・30日、9月2日(夏季) 平成19年10月12・16・18日、11月1・5・6・8～16日(秋季) 平成20年1月10・11・19日、2月4・5・11・18日(冬季)
	主要な眺望景観の状況	陸上部 図-6.20.1.3に示す22地点	平成19年8月20～23・26・28・29日、9月2日(夏季) 平成19年10月12・16日、11月1・5・6・8～16日(秋季) 平成20年1月10・11・30日、2月4・5・11・14・18日(冬季)
		航空機内 図-6.20.1.3に示す10地点	平成19年8月31日、9月3・12日(夏季) 平成19年10月24・29日(秋季) 平成20年2月16日(冬季)
		海上 図-6.20.1.4に示す10地点	平成19年8月30日(夏季) 平成19年10月18日(秋季) 平成20年1月19日(冬季)
		海中 図-6.20.1.4に示す10地点	平成19年8月30・31日、9月22日(夏季) 平成19年10月19・29日(秋季) 平成20年1月28日2月2日(冬季)
	囲繞景観の状況	図-6.20.1.5に示す30地点	平成19年8月20～23・26・28・29・30日、9月2日(夏季) 平成19年10月12・16・18日、11月10日(秋季) 平成20年1月10・11・19日、2月4・5・11・18日(冬季)

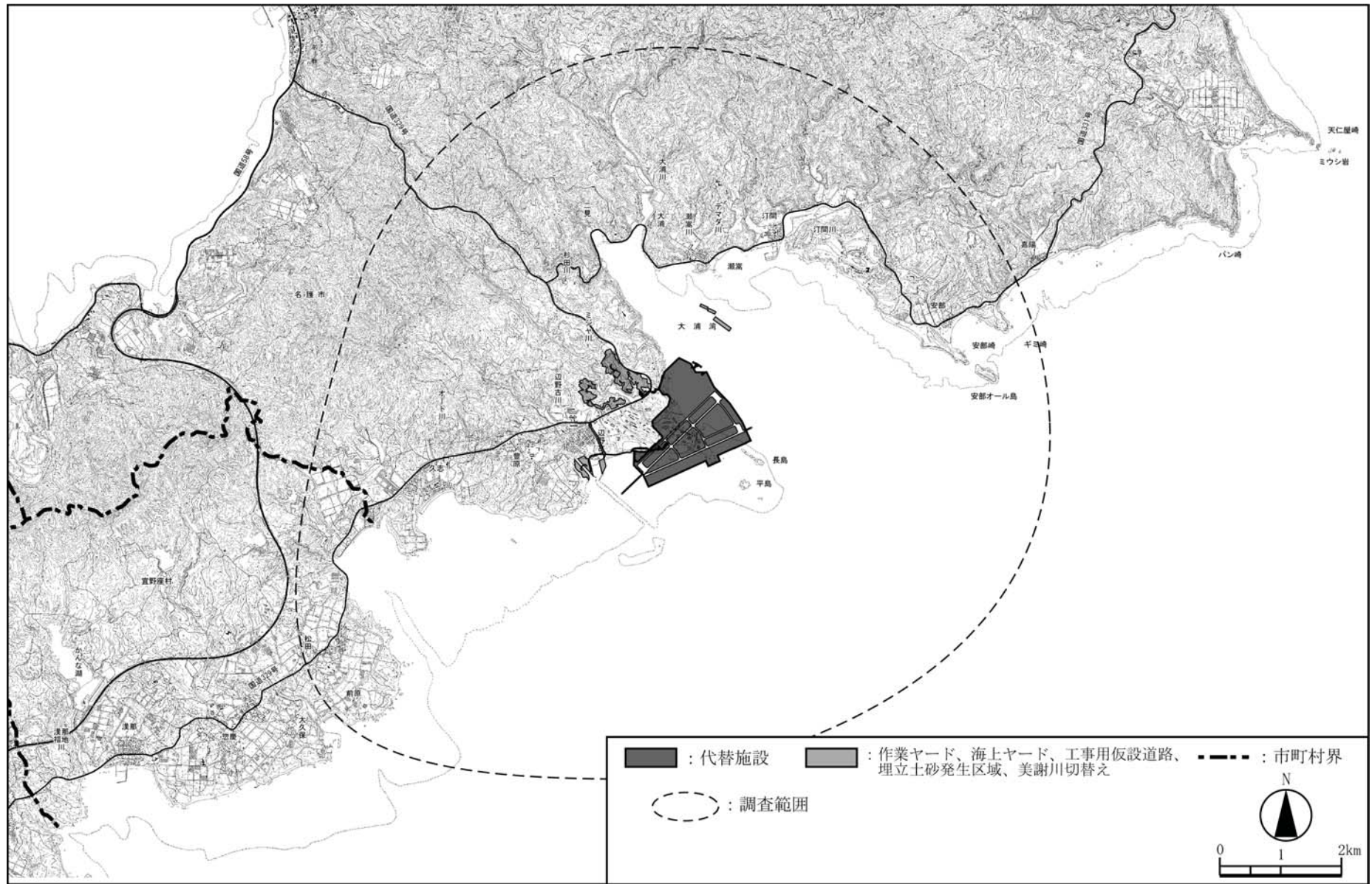


図-6.20.1.1 景観調査範囲（平成19年度）

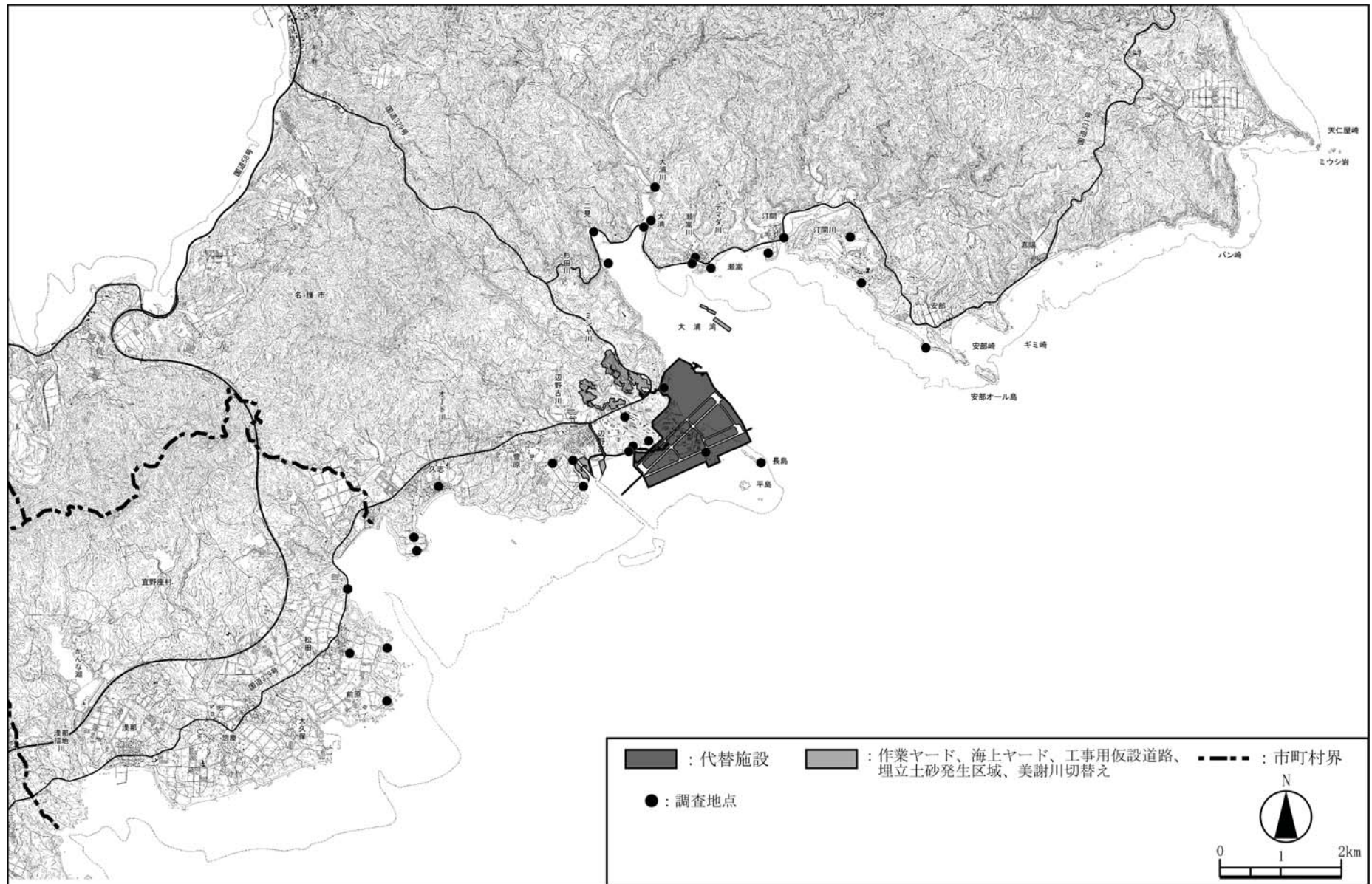


図-6.20.1.2 景観資源の状況 調査地点 (平成19年度)

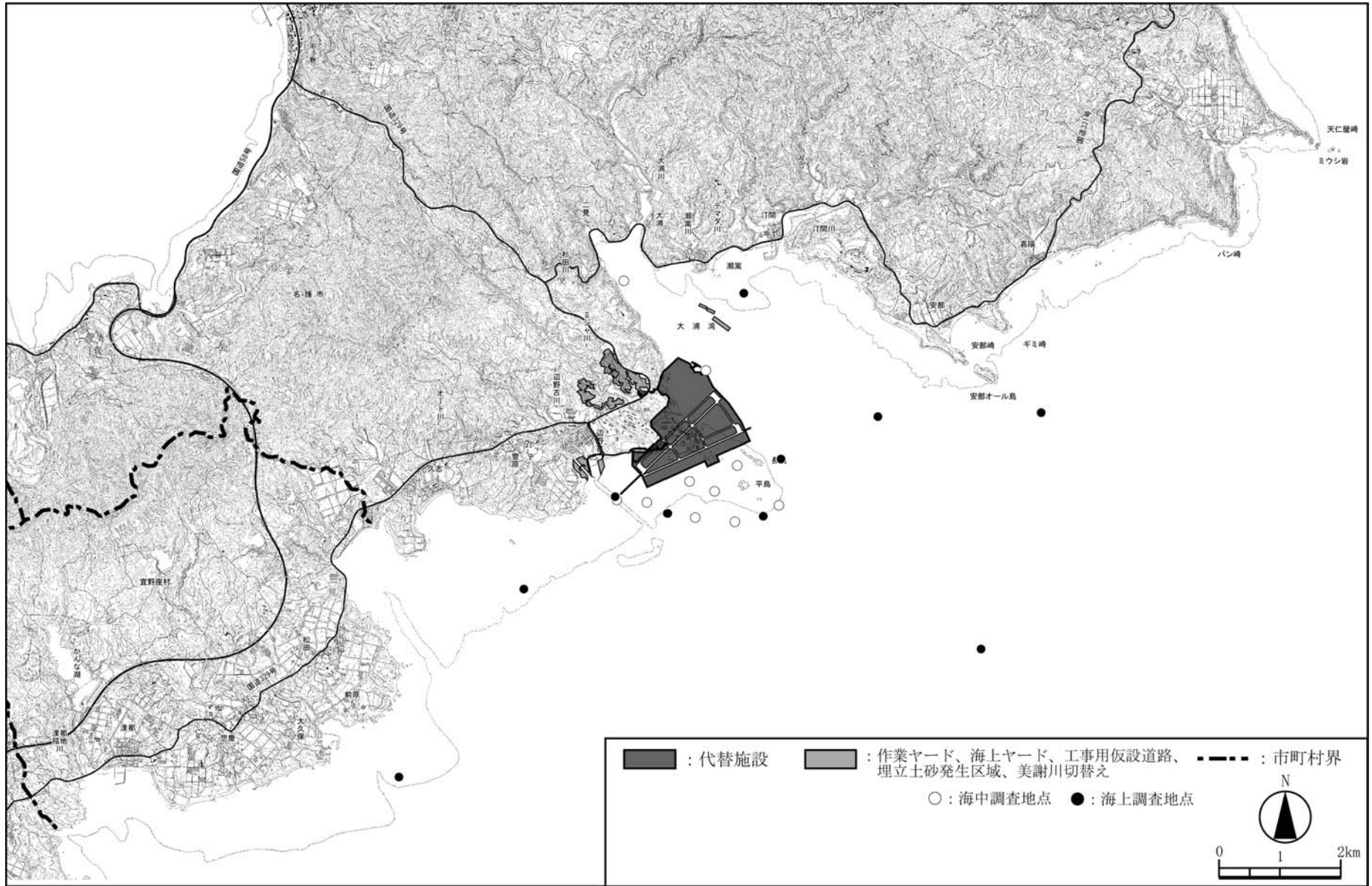


図-6. 20. 1. 4 主要な眺望点景観の状況（海上・海中） 調査地点（平成 19 年度）

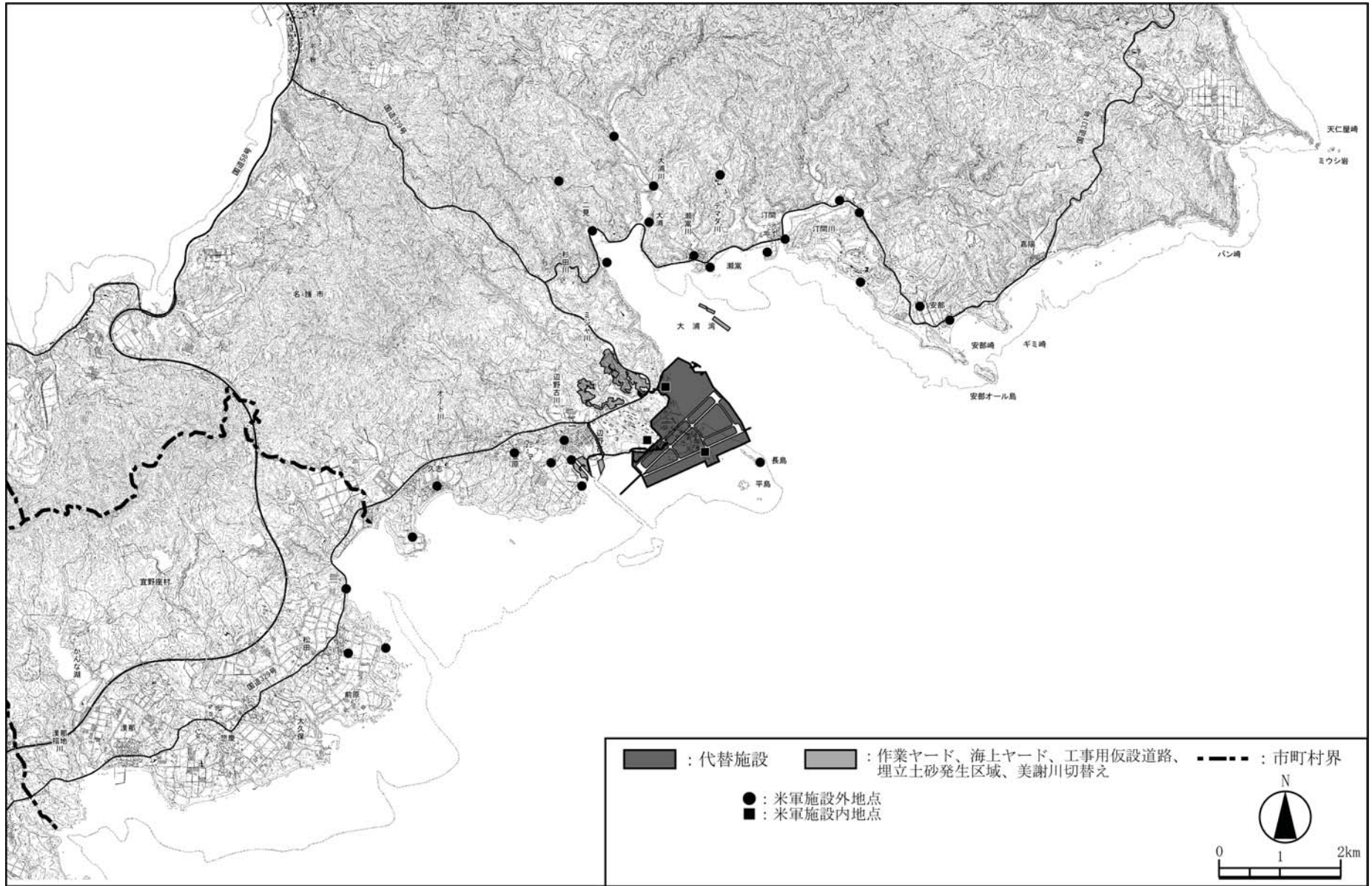


図-6.20.1.5 圍繞景観の状況 調査地点 (平成 19 年度)

2) 現地調査

本調査における現地調査の概要は表-6.20.1.3に、調査の手法は表-6.20.1.4～表-6.20.1.7に示すとおりです。

表-6.20.1.3 現地調査の概要

調査項目		調査位置	調査期間
主要な眺望点及び視点場の状況	主要な眺望点及び視点場の状況	現地踏査 図-6.20.1.6に示す範囲	平成20年7月29・30日(夏季)
景観資源の状況	景観資源の状況	図-6.20.1.7に示す30地点	平成20年4月2・3・12・14・19日(春季) 平成20年7月29・30、8月1・2日(夏季) 平成20年10月18・21～23日、11月7・13・16・23・28日(秋季) 平成20年12月4・8・11・15・16日(冬季)
主要な眺望景観の状況			
囲繞景観の状況	主要な眺望景観の状況	陸上部 図-6.20.1.8に示す23地点	平成20年4月2・3・14・19日(春季) 平成20年7月29・30日、8月1・2日、9月13日(夏季) 平成20年10月16・18・21～24日、11月6・7・9・10・16日(秋季) 平成20年12月8・11・15・16日(冬季)
車窓景観の状況		航空機内 図-6.20.1.8に示す10地点	平成20年4月18日(春季) 平成20年7月29・30日、8月1・10・26日(夏季) 平成20年10月19日、11月10・12・14日(秋季) 平成20年12月1日(冬季)
		海上部 図-6.20.1.9に示す10地点	平成20年4月12日(春季) 平成20年8月29・31日(夏季) 平成20年11月22日(秋季) 平成20年12月4・6日(冬季)
		海中部 図-6.20.1.9に示す10地点	平成20年4月12・19日(春季) 平成20年8月29・30日(夏季) 平成20年11月6・7日(秋季) 平成20年12月4・6日(冬季)
	囲繞景観の状況	図-6.20.1.10に示す陸上部30地点及び海中10地点	平成20年4月2・3・12・14・19日(春季) 平成20年7月29・30日、8月1・2日(夏季) 平成20年10月18・21～23日、11月7・13・16・24・28日(秋季) 平成20年12月4・6・11・15・16日(冬季)
	車窓景観の状況	図-6.20.1.11に示す10地点	平成20年5月28日(春季) 平成20年7月29・30日(夏季) 平成20年10月18・20・22・23日、11月7・9・10・13・24・28日(秋季) 平成20年12月10・11日(冬季)
	アンケート・ヒアリング	12ヶ所	平成20年5月14・19・20・23・26・28日、6月3・4日、平成20年12月19・22・25・26日、平成21年1月9・13・15・16・19・22日、2月2日

表-6. 20. 1. 4 調査方法 (1/4)

調査項目	調査方法														
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主要な眺望点及び視点場の状況調査</p>	<p>調査対象範囲内を現地踏査し、人文的要素（歩道、人口密集地、展望地点等）からの利用性、眺望性、歴史・文化性等の観点に照らして抽出しました。</p> <p>陸上部に関しては、現地踏査及び過年度ヒアリングに基づき、利用が想定され、かつ対象事業実施区域（代替施設、埋立土砂発生区域、作業ヤード）を眺望できる地点を対象としました。</p> <p>航空機内に関しては、民間旅客機のルート及び飛行高度の想定をもとに撮影のルートを設定し、対象事業実施区域に向けた遠景・中景・近景の眺望を考慮した調査地点を設定しました。</p> <p>海上に関しては、民間船舶等の航路を考慮し、航路上に10地点を設定しました。</p> <p>海中に関しては、藻場若しくはサンゴ礁が分布している地点といずれも分布していない地点の合計10地点を設定しました。</p>														
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">景観資源の状況調査</p>	<p>既存文献の整理・解析の結果を踏まえて、調査対象範囲内を現地踏査し、基礎的要素（山岳、島嶼、段丘等）、生物的要素（樹木、植生等）、人文的要素（史跡等）から、固有性、親近性、歴史・文化性及び視認性等の観点に照らして抽出しました。</p> <p>調査地点の設定に際しては、抽出した景観資源を眺望することができる主要な眺望点及びその近傍を調査地点として設定しました。</p> <p style="text-align: center;">撮影方法の概要</p> <table border="1" data-bbox="529 1095 1168 1326"> <tbody> <tr> <td>調査時間帯</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>使用カメラ</td> <td>Nikon D60</td> </tr> <tr> <td>使用レンズ</td> <td>AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G</td> </tr> <tr> <td>絞り</td> <td>自動</td> </tr> <tr> <td>焦点距離</td> <td>18mm</td> </tr> <tr> <td>ISO感度</td> <td>自動</td> </tr> <tr> <td>シャッター速度</td> <td>自動</td> </tr> </tbody> </table>	調査時間帯	昼間	使用カメラ	Nikon D60	使用レンズ	AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G	絞り	自動	焦点距離	18mm	ISO感度	自動	シャッター速度	自動
調査時間帯	昼間														
使用カメラ	Nikon D60														
使用レンズ	AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G														
絞り	自動														
焦点距離	18mm														
ISO感度	自動														
シャッター速度	自動														

表-6. 20. 1. 5 調査方法 (2/4)

調査項目	調査方法																																												
主要な眺望景観の状況調査	<p> 主要な眺望点からの改変区域方向（代替施設、埋立土砂発生区域、作業ヤード）の写真撮影を行い、状況を把握するとともに、季節・時間帯の変化や、降雨による水の濁りの状況、航空機内、海上、海中からの状況についても写真撮影により把握しました。また、眺望景観が有する普遍価値（自然性、眺望性等）と固有価値（固有性、歴史性等）に関しては、地元の方々へのヒアリング調査やアンケート調査により、人々が眺望景観に対して感じている価値の把握を行いました。 </p> <p style="text-align: center;">撮影方法の概要（主要な眺望景観、陸上部）</p> <table border="1" data-bbox="523 723 1161 1016"> <tr><td>調査時間帯</td><td>朝、昼間、夕方、夜、降雨時</td></tr> <tr><td>撮影角度</td><td>水平（三脚を使用）</td></tr> <tr><td>視点高</td><td>1.5m</td></tr> <tr><td>使用カメラ</td><td>Nikon D60</td></tr> <tr><td>使用レンズ</td><td>AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G</td></tr> <tr><td>絞り</td><td>自動</td></tr> <tr><td>焦点距離</td><td>18mm</td></tr> <tr><td>ISO感度</td><td>自動</td></tr> <tr><td>シャッター速度</td><td>自動</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">撮影方法の概要（主要な眺望景観、航空機内）</p> <table border="1" data-bbox="517 1079 1166 1308"> <tr><td>調査時間帯</td><td>朝、昼間、夕方、夜、降雨時</td></tr> <tr><td>使用カメラ</td><td>Canon EOS-20D</td></tr> <tr><td>使用レンズ</td><td>Canon Zoom Lens EFS 17-85mm(17mm)</td></tr> <tr><td>絞り</td><td>朝～夕方 自動、夜 2.8</td></tr> <tr><td>焦点距離</td><td>17mm</td></tr> <tr><td>ISO感度</td><td>朝～夕方 400、夜 1600</td></tr> <tr><td>シャッター速度</td><td>朝～夕方 自動、夜 1/10～1/15</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">撮影方法の概要（主要な眺望景観、海上部）</p> <table border="1" data-bbox="564 1384 1120 1485"> <tr><td>調査時間帯</td><td>朝～昼間</td></tr> <tr><td>使用カメラ</td><td>Nikon NIKONOS-V</td></tr> <tr><td>使用レンズ</td><td>Nikon UW-NIKKOR15mm</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">撮影方法の概要（主要な眺望景観、海中部）</p> <table border="1" data-bbox="571 1563 1112 1664"> <tr><td>調査時間帯</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>使用カメラ</td><td>Nikon NIKONOS-V</td></tr> <tr><td>使用レンズ</td><td>Nikon UW-NIKKOR15mm</td></tr> </table>	調査時間帯	朝、昼間、夕方、夜、降雨時	撮影角度	水平（三脚を使用）	視点高	1.5m	使用カメラ	Nikon D60	使用レンズ	AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G	絞り	自動	焦点距離	18mm	ISO感度	自動	シャッター速度	自動	調査時間帯	朝、昼間、夕方、夜、降雨時	使用カメラ	Canon EOS-20D	使用レンズ	Canon Zoom Lens EFS 17-85mm(17mm)	絞り	朝～夕方 自動、夜 2.8	焦点距離	17mm	ISO感度	朝～夕方 400、夜 1600	シャッター速度	朝～夕方 自動、夜 1/10～1/15	調査時間帯	朝～昼間	使用カメラ	Nikon NIKONOS-V	使用レンズ	Nikon UW-NIKKOR15mm	調査時間帯	昼間	使用カメラ	Nikon NIKONOS-V	使用レンズ	Nikon UW-NIKKOR15mm
	調査時間帯	朝、昼間、夕方、夜、降雨時																																											
	撮影角度	水平（三脚を使用）																																											
	視点高	1.5m																																											
	使用カメラ	Nikon D60																																											
使用レンズ	AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G																																												
絞り	自動																																												
焦点距離	18mm																																												
ISO感度	自動																																												
シャッター速度	自動																																												
調査時間帯	朝、昼間、夕方、夜、降雨時																																												
使用カメラ	Canon EOS-20D																																												
使用レンズ	Canon Zoom Lens EFS 17-85mm(17mm)																																												
絞り	朝～夕方 自動、夜 2.8																																												
焦点距離	17mm																																												
ISO感度	朝～夕方 400、夜 1600																																												
シャッター速度	朝～夕方 自動、夜 1/10～1/15																																												
調査時間帯	朝～昼間																																												
使用カメラ	Nikon NIKONOS-V																																												
使用レンズ	Nikon UW-NIKKOR15mm																																												
調査時間帯	昼間																																												
使用カメラ	Nikon NIKONOS-V																																												
使用レンズ	Nikon UW-NIKKOR15mm																																												

表-6. 20. 1. 6 調査方法 (3/4)

調査項目	調査方法																				
圍繞景観の状況調査	<ul style="list-style-type: none"> ・景観の区分 地形及び利用等の状況について、動植物、生態系の現地調査の結果及び文献その他資料に基づき整理・解析した結果も踏まえて、調査対象範囲内での圍繞景観を把握する空間単位として区分を行うと共に、広範囲における野生生物のハビタット等を把握して詳細に区分し、それぞれの景観区の景観構造及び機能的側面について解析を行いました。さらに、海域における圍繞景観の景観区の区分についても、海域生物及び海域生態系の調査結果から得られた生物の地被的要素や海底地形等の地形的要素を把握し区分しました。 ・景観区ごとの場の状態及び利用の状態 景観区ごとに圍繞景観を構成している地学的要素、自然現象及び人文要素等の観点から、個々の要素の状態を把握しました。また、人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果等を活用して、利用者数及び利用形態についても把握しました。 ・景観区ごとの眺めの状態 景観区に対応して利用が想定される調査地点を設定し、景観区内を写真撮影して眺めの状態を把握するとともに、海中における視点場の状況についても把握しました。 <p style="text-align: center;">撮影方法の概要（主要な圍繞景観、陸上部）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>調査時間帯</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>使用カメラ</td><td>Nikon D60</td></tr> <tr><td>使用レンズ</td><td>AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G</td></tr> <tr><td>絞り</td><td>自動</td></tr> <tr><td>焦点距離</td><td>18mm</td></tr> <tr><td>ISO感度</td><td>自動</td></tr> <tr><td>シャッター速度</td><td>自動</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">撮影方法の概要（主要な眺望景観、海中部）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>調査時間帯</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>使用カメラ</td><td>Nikon NIKONOS-V</td></tr> <tr><td>使用レンズ</td><td>Nikon UW-NIKKOR15mm</td></tr> </table>	調査時間帯	昼間	使用カメラ	Nikon D60	使用レンズ	AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G	絞り	自動	焦点距離	18mm	ISO感度	自動	シャッター速度	自動	調査時間帯	昼間	使用カメラ	Nikon NIKONOS-V	使用レンズ	Nikon UW-NIKKOR15mm
調査時間帯	昼間																				
使用カメラ	Nikon D60																				
使用レンズ	AF-S NIKKOR 18-55mm 1:3.5-5.6G																				
絞り	自動																				
焦点距離	18mm																				
ISO感度	自動																				
シャッター速度	自動																				
調査時間帯	昼間																				
使用カメラ	Nikon NIKONOS-V																				
使用レンズ	Nikon UW-NIKKOR15mm																				
車窓景観の状況調査	<p>主要な車窓景観として 10 地点を選定し、写真撮影を行い、幹線道路からの眺めの状態を把握するとともに、季節・時間帯の変化について把握しました。</p> <p>撮影地点高さは普通乗用車の目線として地上 1.2m、観光バスの目線として地上 2.5m としました。</p> <p>調査地点からは、晴天時の昼間を基本として、夏季、秋季、冬季の 3 季にわたり、朝・夕方・夜間の時間帯別、及び降雨時に撮影を行いました。</p> <p style="text-align: center;">撮影方法の概要（車窓景観）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>調査時間帯</td><td>朝、昼間、夕方、夜間、降雨時</td></tr> <tr><td>使用カメラ</td><td>Nikon D80</td></tr> <tr><td>使用レンズ</td><td>Nikon AF-S NIKKOR 18-70mm 1:3.5-4.5G ED</td></tr> <tr><td>絞り</td><td>2.8</td></tr> <tr><td>焦点距離</td><td>18mm</td></tr> <tr><td>ISO感度</td><td>朝、昼間、夕方、降雨時：100 夜間：800</td></tr> <tr><td>シャッター速度</td><td>自動</td></tr> </table>	調査時間帯	朝、昼間、夕方、夜間、降雨時	使用カメラ	Nikon D80	使用レンズ	Nikon AF-S NIKKOR 18-70mm 1:3.5-4.5G ED	絞り	2.8	焦点距離	18mm	ISO感度	朝、昼間、夕方、降雨時：100 夜間：800	シャッター速度	自動						
調査時間帯	朝、昼間、夕方、夜間、降雨時																				
使用カメラ	Nikon D80																				
使用レンズ	Nikon AF-S NIKKOR 18-70mm 1:3.5-4.5G ED																				
絞り	2.8																				
焦点距離	18mm																				
ISO感度	朝、昼間、夕方、降雨時：100 夜間：800																				
シャッター速度	自動																				

表-6. 20. 1. 7 調査方法 (4/4)

調査項目	調査方法										
アンケート・ヒアリング調査	<p>・アンケート調査 本調査で把握した主要な眺望景観及び圍繞景観に対して、人々がどのような普遍価値・固有価値を見出すかについて、アンケート調査にて把握を行いました。対象者は、調査対象地域をよく認識している地元住民の方や、調査対象地域内で活動している団体とし、安部区から松田区までの周辺 11 区及びカヌチャリゾートの計 12 ヶ所を対象としました。調査項目は下表に示すとおりです。アンケートは、各区長（担当支配人）より、区民（職員）の方に配布していただき（合計約 600 部を配布）、回答者が居住・活動している地区での調査写真を見ながら、該当箇所には○をつけていく選択式にて回答を得ました。</p> <p>・ヒアリング調査 本調査で調査した主要な眺望景観及び圍繞景観に対して、代替施設が建設された際の施設の様子及びヘリコプターの飛行状況のイメージを図化したフォトモンタージュを現況と比較してもらい、人々がどのような印象を受けるかについて、ヒアリング調査にて把握を行いました。対象者は、調査対象地域をよく認識している地元住民の方や、調査対象地域内で活動している団体とし、合計 12 ヶ所を対象としました。 調査項目は下表に示すとおりです。ヒアリングは、各区より回答者を数名選出していただき、調査員が同席し現況と将来の写真について説明しながら回答していただきました。</p> <table border="1" data-bbox="480 1137 1206 1379" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要な眺望点及び眺望景観の価値</td> <td style="text-align: center;">普遍価値</td> <td style="text-align: center;">審美性、自然性、眺望性</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">固有価値</td> <td style="text-align: center;">固有性、歴史性、郷土性</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主要な圍繞景観の価値</td> <td style="text-align: center;">普遍価値</td> <td style="text-align: center;">審美性、多様性、自然性</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">固有価値</td> <td style="text-align: center;">固有性、歴史性、郷土性</td> </tr> </tbody> </table>	主要な眺望点及び眺望景観の価値	普遍価値	審美性、自然性、眺望性	固有価値	固有性、歴史性、郷土性	主要な圍繞景観の価値	普遍価値	審美性、多様性、自然性	固有価値	固有性、歴史性、郷土性
主要な眺望点及び眺望景観の価値	普遍価値		審美性、自然性、眺望性								
	固有価値	固有性、歴史性、郷土性									
主要な圍繞景観の価値	普遍価値	審美性、多様性、自然性									
	固有価値	固有性、歴史性、郷土性									

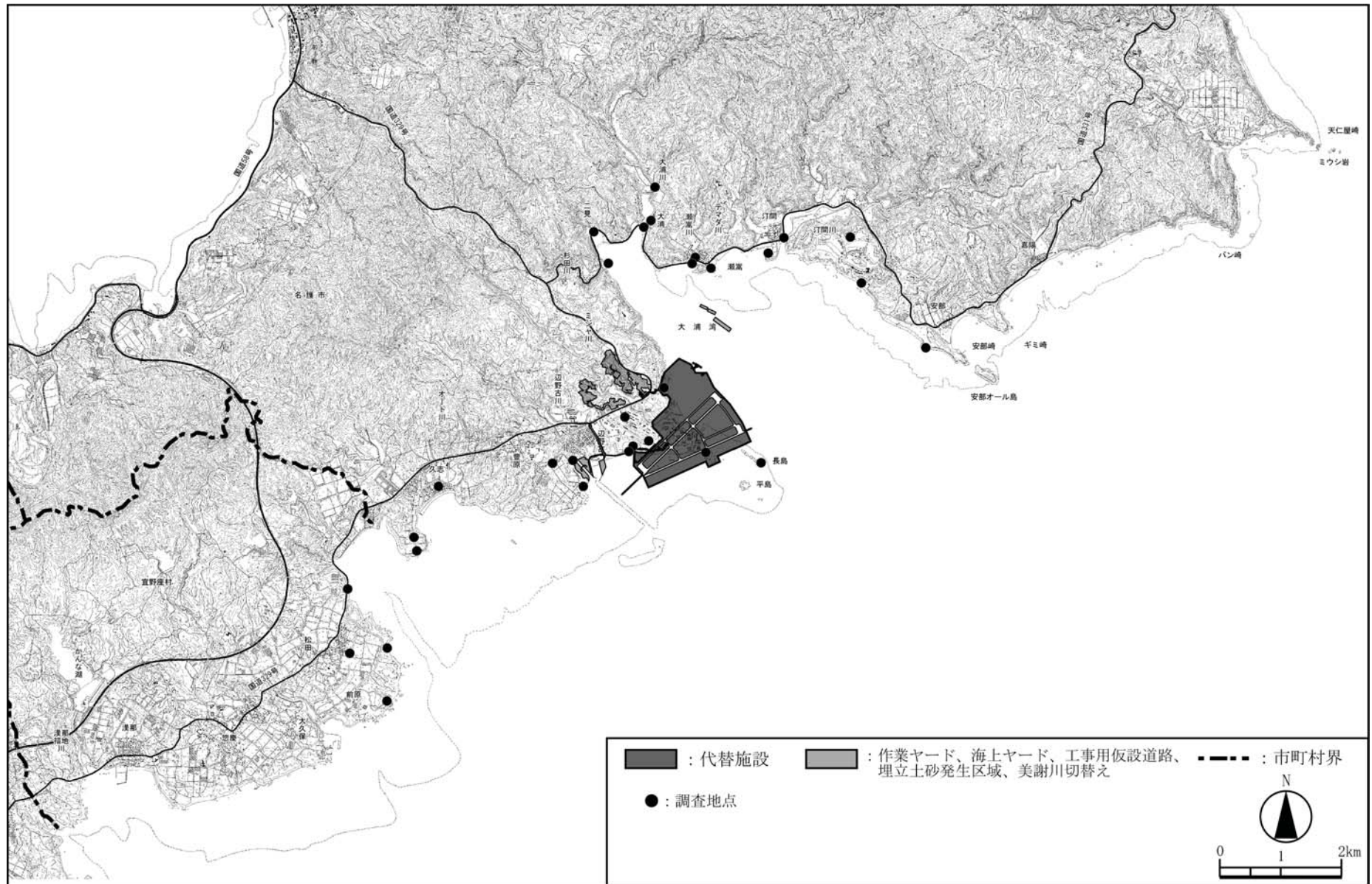


図-6.20.1.7 景観資源の状況 調査地点 (平成 20 年度)

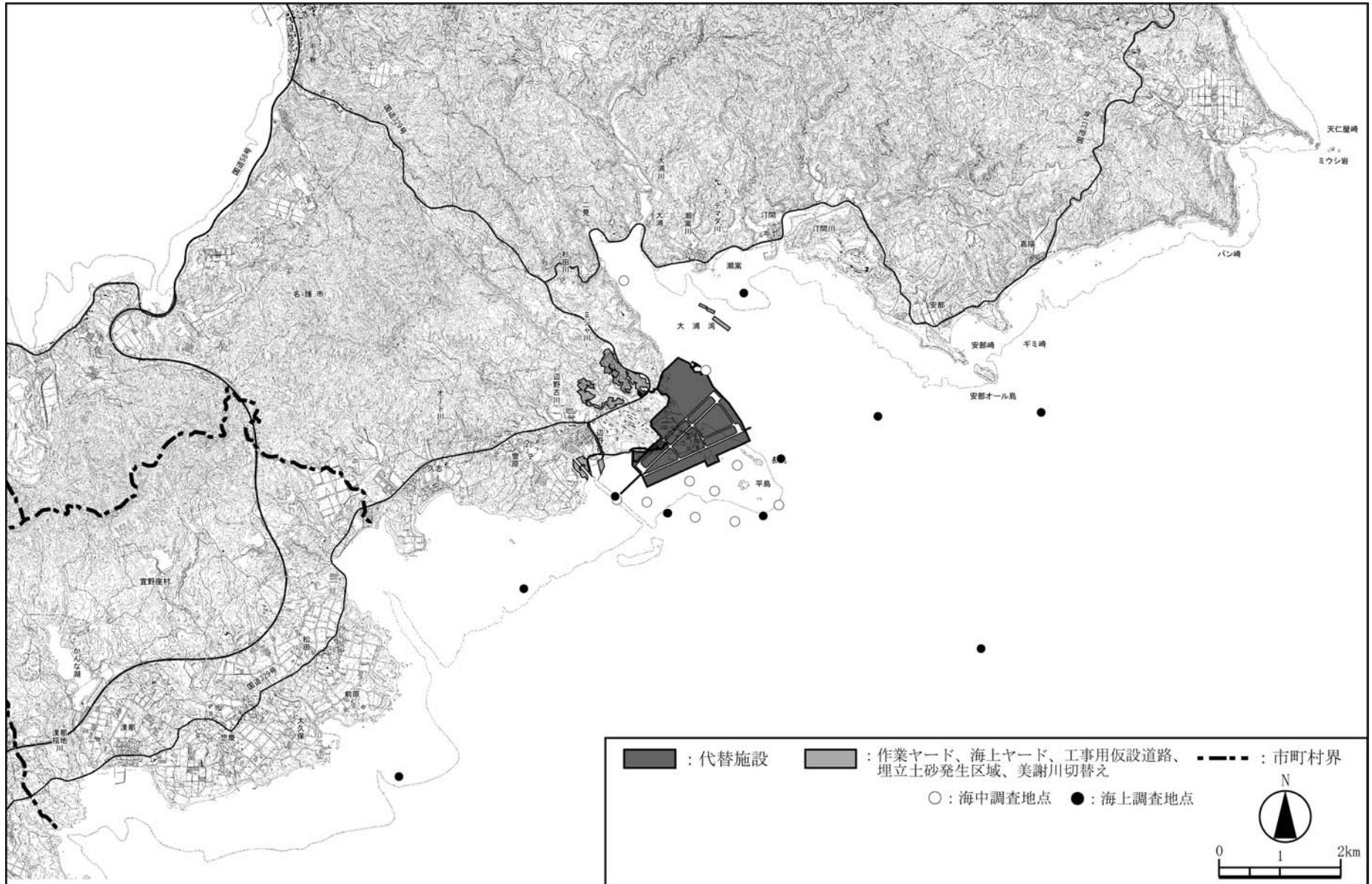


図-6.20.1.9 主要な眺望景観の状況（海上・海中） 調査地点（平成20年度）

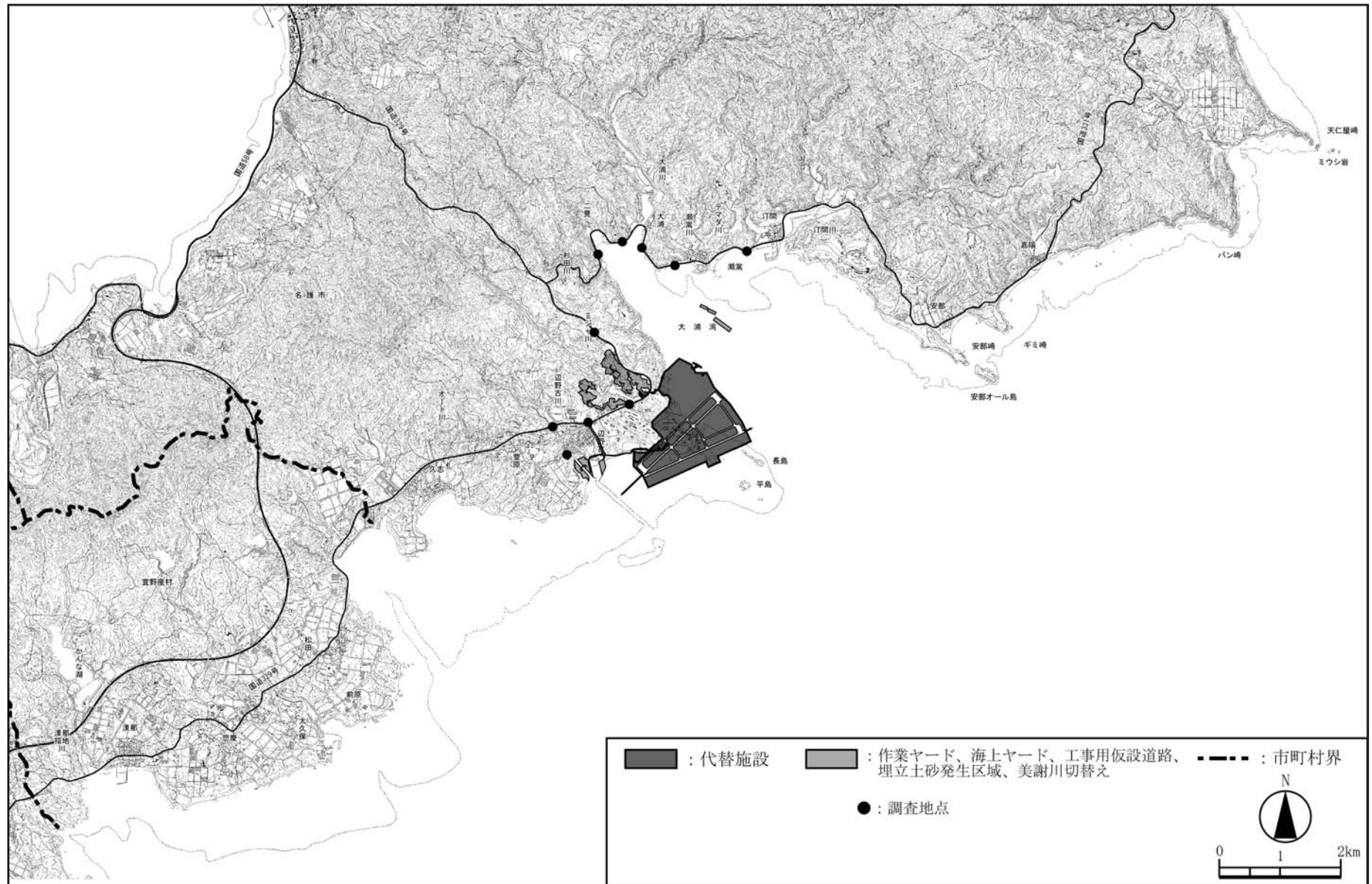


図-6.20.1.11 車窓景観の状況 調査地点 (平成 20 年度)

(2) 調査結果

1) 文献その他の資料調査結果

(a) 環境省等による調査

a) 主要な眺望点及び視点場の状況

既存文献及び地方自治体ウェブサイトより、不特定多数の利用が想定される以下の 20 の観光利用地点等を抽出し、表-6. 20. 1. 8及び図-6. 20. 1. 12に示しました。

表-6. 20. 1. 8 文献その他の資料調査結果

観光利用地点等		文献番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
名護市	1	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	○	○	○			○	○			
	2	沖縄サンビーチ・リゾート カヌチャゴルフコース	○									
	3	カヌチャビーチ	○									
	4	ゲーヤ滝						○				
	5	役所前の浜									○	
	6	瀬嵩の浜									○	
	7	瀬嵩区公民館前								○		
	8	汀間地区会館前								○		
	9	汀間漁港	○									
	10	大浦集落センター前								○		
	11	大浦のマングローブ林		○								
	12	大浦湾岩場									○	
	13	ゆかり牧場							○			
	14	二見海岸	○									○
	15	辺野古漁港	○								○	
	16	21世紀ゴルフクラブ	○						○	○		
	17	久志区公民館前								○		
宜野座村	18	潟原の干潟				○	○				○	
	19	宜野座カントリークラブ				○	○					
	20	国際交流センター				○	○					

- 文献番号 1. 「美ら島ー沖縄県観光情報ファイルー」（平成 15 年 10 月、(財) 沖縄観光コンベンションビューロー）
 2. 「名護市勢要覧」（平成 15 年 5 月、名護市）
 3. 「名護市役所ー名護市トップページ」（平成 20 年 10 月現在、<http://www.city.nago.okinawa.jp/>）
 4. 「宜野座村勢要覧」（平成 10 年、宜野座村役場）
 5. 「宜野座村ホームページ」（平成 20 年 10 月現在、<http://www.vill.ginoza.okinawa.jp/>）
 6. 「名護ガイドマップ」（平成 19 年、名護市観光協会・名護市商工観光課）
 7. 「あけみおのまち」（平成 19 年、名護市観光協会・名護市商工観光課）
 8. 「名護市の名木」（昭和 59 年 3 月、名護市教育委員会）
 9. 「沖縄の海と釣り」（昭和 61 年 7 月、琉球新報社）
 10. 「沖縄の潮干狩りとキャンプ場マップ」（平成 12 年 8 月、フィッシング沖縄社）

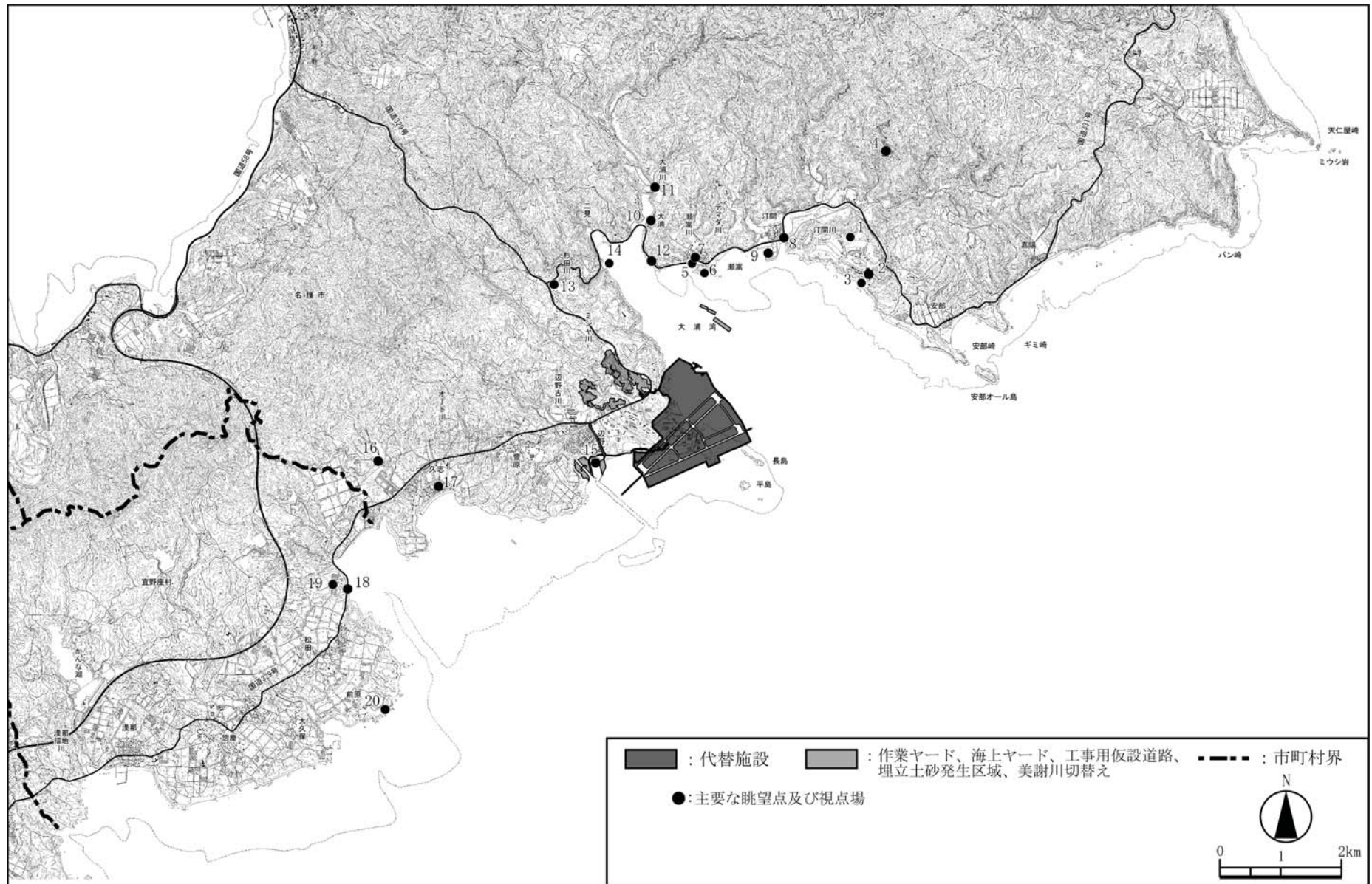


図-6.20.1.12 主要な眺望点及び視点場の位置 (既存文献)

b) 景観資源の状況

既存文献より、表-6.20.1.9に示す 26 の景観資源を抽出し、図-6.20.1.13に示しました。なお、調査対象範囲内から眺望される調査対象範囲外に存在するものについても抽出対象としました。

表-6.20.1.9 文献その他の資料調査結果

	名 称	資源要素	文献 番号	所 在
1	名護岳	山岳	1	調査範囲外
2	久志岳	山岳	1	調査範囲内
3	石岳	山岳	1	調査範囲外
4	一ッ岳	山岳	1	調査範囲外
5	辺野古岳	山岳	1	調査範囲内
6	平島	島嶼	1	調査範囲内
7	長島	島嶼	1	調査範囲内
8	安部オール島	島嶼	1	調査範囲内
9	瀬嵩区のフクギ、モクマオウ、ホルトノキ	樹木	3	調査範囲内
10	大浦御嶽のイタジイ林	植生	3	調査範囲内
11	大浦のアサギ庭のガジマル	樹木	3、4	調査範囲内
12	大浦のマングローブ林	植生	3	調査範囲内
13	久志公民館のガジマル	樹木	2、3	調査範囲内
14	海成段丘（サンゴ礁段丘）	段丘	1	調査範囲内
15	三原安部又のリュウキュウマツ	樹木	3	調査範囲内
16	汀間川のサキシマスオウノキ	樹木	3	調査範囲内
17	汀間サンカジュのクワノハエノキ	樹木	3	調査範囲内
18	二見佐久川家のケラマツツジ	樹木	3	調査範囲内
19	久志観音堂のガジマル	樹木	2、3	調査範囲内
20	プラマチジョーのガジマル	樹木	3	調査範囲内
21	久志のチークエンギ	樹木	3	調査範囲内
22	瀬嵩さんたち原のハル石	史跡	4	調査範囲内
23	安部拝所のガジマル	樹木	2、3、4	調査範囲内
24	瀬嵩のリュウキュウマツ	樹木	2	調査範囲内
25	大浦のイチョウ	樹木	3、4	調査範囲内
26	松田の馬場及び松並木	植生	4	調査範囲内

- 文献番号 1. 「第3回自然環境保全基礎調査（自然環境情報図）」（平成元年、環境庁）
 2. 「第4回自然環境保全基礎調査（自然環境情報図）」（平成7年、環境庁）
 3. 「名護市の名木」（昭和59年3月、名護市教育委員会）
 4. 「国・県・市町村指定文化財総括表」（平成20年10月現在、沖縄県文化課資料）

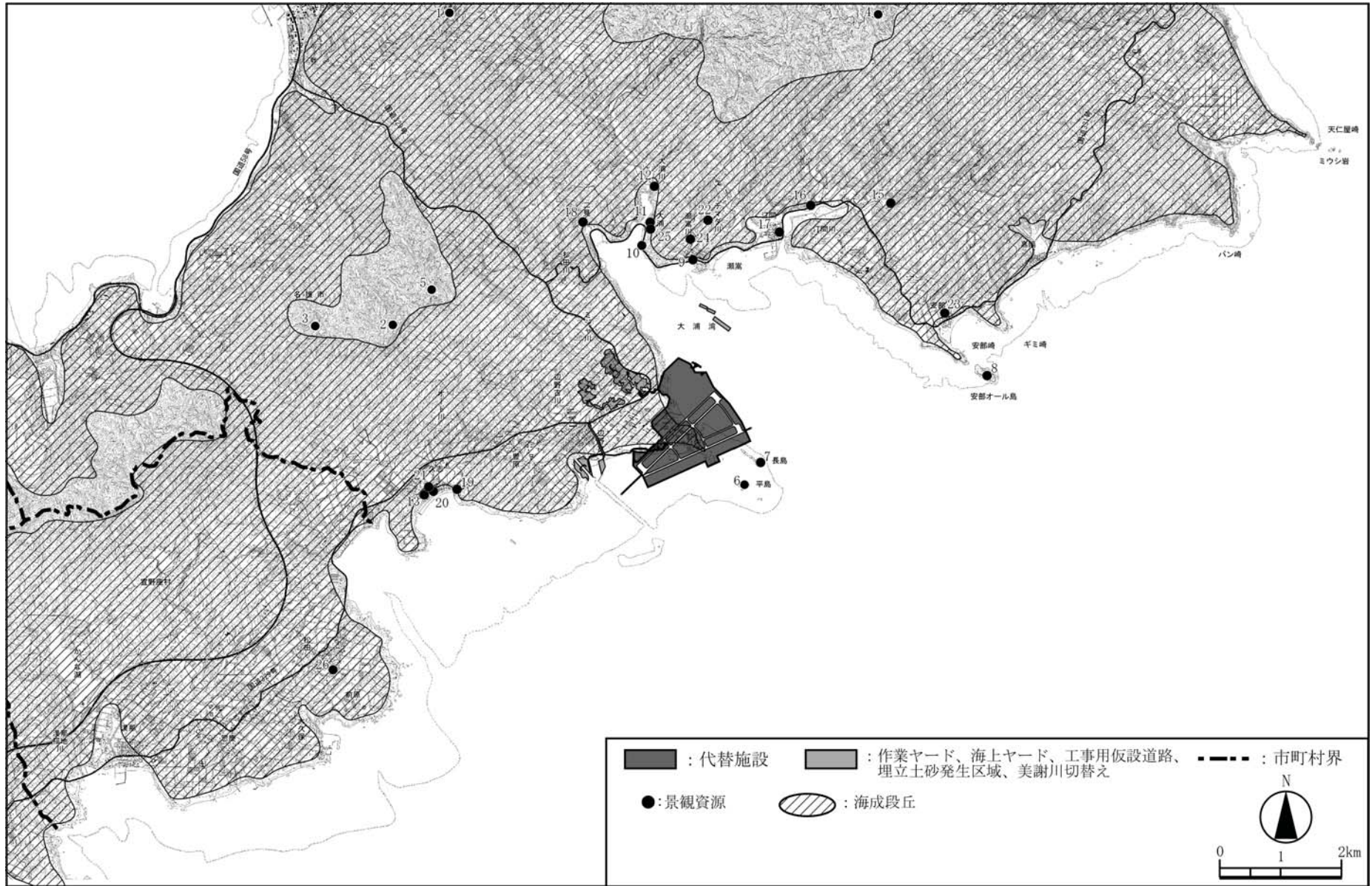


図-6.20. 1.13 景観資源の位置 (既存文献)

(b) 事業者による調査（平成 19 年度）

a) 主要な眺望点及び視点場の状況

(ア) 現地踏査（景観調査候補地点の抽出）

現地踏査は、主要な眺望点とともに、景観資源の状況調査、主要な眺望景観の状況調査、圍繞景観の状況調査の調査地点を抽出することを目的として行いました。

陸上部（米軍施設外）の調査対象は、文献調査で抽出した観光利用地点等とともに、現地踏査時に適宜地点を追加しました。結果は表-6.20.1.10～表-6.20.1.13に示すとおりです。

陸上部（米軍施設内）の調査地点については、地域住民による利用はありませんが、近景で事業実施区域が眺望できる景観状況を把握するため数地点を設定しました。

海上部の調査対象は、藻場及びサンゴ礁の分布状況も勘案し、それぞれの分布の有無がほぼ均等になるように地点を設定しました。また、周辺海域での主要な3島（平島・長島・安部オール島）についても、調査対象としました。

現地踏査ルート及び現地踏査を行った視点場の位置を図-6.20.1.14に示しました。

表-6. 20. 1. 10 現地踏査結果その1 (陸上部・米軍施設外)

No.	名 称	地 区	対象事業実施区域方向への眺望	環境タイプ ^{注)}
1	安部地区会館	安部	×	集落
2	安部浜		×	砂浜
3	安部崎		○	崖上
6	三原地区会館	三原	×	集落
4	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	汀間	○	集落
5	カヌチャビーチ		○	砂浜
7	嘉手苅橋		○	河川
8	汀間漁港		○	人工物
9	テマダ川河口		○	砂浜
10	役所前の浜	瀬嵩	○	砂浜
11	瀬嵩の浜		○	砂浜
12	名護市役所久志支所		○	集落
13	大浦のアサギ庭のガジマル	大浦	×	集落
14	大浦集落センター		×	集落
15	大浦川河口		○	河川
16	大浦のマングローブ林		×	河川
17	大浦御嶽のイタジイ林		○	樹林
18	大川集落センター	大川	×	集落
19	楚久川河口	二見	○	砂浜
20	二見海岸		○	砂浜
21	ゆかり牧場		×	人工物
22	辺野古前上原公園	辺野古	○	公園
23	辺野古の浜		○	砂浜
24	辺野古交差点		×	集落
25	辺野古区のごみ捨て場		○	砂浜
26	辺野古区の農地		×	農地
27	豊原地区会館		豊原	×
28	豊原の浜	×		砂浜
29	豊原コミュニティセンター	×		集落
30	加知味崎	久志	○	砂浜
31	久志区集いの館		×	集落
32	サーバーファーム	松田	○	人工物
33	松田のギン原川のマングローブ林		×	河川
34	前原貝塚		×	集落
35	前原遺跡		×	集落
36	国際交流センター		○	砂浜
37	松田地区公民館、松田農村公園		○	集落
38	松田の馬場及び松並木		×	集落
39	ヒービィー海岸交流広場		○	砂浜
40	メーガー遺跡		×	砂浜
41	宜野座カントリークラブ		×	人工物
42	宜野座福地川河口		×	河川
43	潟原団地		×	集落
44	潟原の干潟		○	砂浜

注) 環境タイプについては表-6. 20. 1. 13を参照

表-6.20.1.11 現地踏査結果その2 (陸上部・米軍施設内)

No.	名 称	地 区	対象事業実施区域 方向への眺望	環境タイプ ^{注)}
1	辺野古崎		○	人工物
2	米軍施設内広場 1		○	草地
3	米軍施設内広場 2		○	草地
4	監督官事務所前	米軍施設内 (キャンプ地区)	○	草地
5	米軍施設内サッカー場		○	草地
6	米軍施設内広場 3		○	草地
7	米軍施設内ビーチ		○	砂浜
8	演習場橋上	米軍施設内	×	樹林
9	辺野古ダム脇	(演習場地区)	×	樹林

注) 環境タイプについては表-6.20.1.13を参照

表-6.20.1.12 現地踏査結果その3 (海上部)

No.	地 点 位 置	対象事業実施区域 方向への眺望	環境タイプ ^{注)}
1	N26.5151°、E128.0547°、サンゴ礁分布	○	海上
2	N26.5196°、E128.0504°、代替施設内	○	海上
3	N26.5181°、E128.0462°、藻場分布、代替施設内	○	海上
4	N26.5168°、E128.0399°、藻場分布	○	海上
5	N26.5144°、E128.0423°	○	海上
6	N26.5124°、E128.0449°、サンゴ礁分布	○	海上
7	N26.5060°、E128.0417°、サンゴ礁分布	○	海上
8	N26.5093°、E128.0523°	○	海上
9	N26.5109°、E128.0636°	○	海上
10	N26.5236°、E128.0578°、サンゴ礁分布、代替施設内	○	海上
11	N26.5332°、E128.0494°、代替施設内	○	海上
12	N26.5164°、E128.0595°、平島上	○	島嶼
13	N26.5195°、E128.0617°、長島上	○	島嶼
14	N26.5307°、E128.0599°	○	海上
15	N26.5253°、E128.0704°、サンゴ礁分布	○	海上
16	N26.5332°、E128.0977°、安部オール島上	○	島嶼

注) 環境タイプについては表-6.20.1.13を参照

表-6.20.1.13 環境タイプ

	環境タイプ	概 要
1	集落	周囲を集落に囲まれている。
2	砂浜	周囲が砂浜になっている。
3	崖上	崖の上に位置している。
4	河川	河川沿いに位置している。
5	人工物	周囲を集落以外の人工物に囲まれている。
6	樹林	周囲を樹林に囲まれている、若しくは樹林の中にある。
7	公園	公園内に位置している。
8	農地	周囲を農地に囲まれている。
9	草地	周囲を草地に囲まれている、若しくは草地の中にある。
10	海上	海上に位置している。
11	島嶼	島嶼上に位置している。

注) 踏査結果から調査地点周辺の状況をおおまかに判断したものであり、厳密な分類ではありません。

(イ) ヒアリング

各地区の区長を対象に、地元住民の利用場所と利用状況の把握、地元にある景観資源の情報収集を目的としてヒアリング調査を行いました。実施日及びヒアリング対象は表-6. 20. 1. 14、ヒアリング結果（概要）は表-6. 20. 1. 15に示すとおりです。

表-6. 20. 1. 14 ヒアリング日時及び対象

No.	日時	対象者
1	平成 19 年 7 月 17 日	久志区長
2	平成 19 年 7 月 17 日	松田区長
3	平成 19 年 7 月 17 日	瀬嵩区長
4	平成 19 年 7 月 17 日	豊原区長
5	平成 19 年 7 月 19 日	安部区長
6	平成 19 年 7 月 19 日	大川区長
7	平成 19 年 7 月 20 日	大浦区長
8	平成 19 年 7 月 20 日	辺野古区長
9	平成 19 年 7 月 21 日	汀間区長
10	平成 19 年 7 月 26 日	三原区長
11	平成 19 年 8 月 15 日	二見区長

表-6. 20. 1. 15 ヒアリング結果

地区	利用場所及び景観資源	利用者	利用時期・時間	利用目的
久志区	公民館	地元住民	通年	生活利用・行事
	農道	農家	日中	農作業
	岩場	地区外	通年	釣り
	浜辺	親子連れ	朝・夕、冬以外	散策
松田区	松田農村公園	地元住民	通年	ゲートボール・行事
	宜野座福地川河口	地元住民・観光客等	通年	散策・カヌーツアー
	宜野座ビーチ・松並木	地元住民	特になし	利用はほぼ無い
	砂浜	地元住民	夕・夜	遊び場・潮干狩り
	潟原の県道沿い	地元住民	通年	散策等
	ヒーピー海岸交流広場	地元住民・観光客等	夏	釣り・潮干狩り・キャンプ
	農地	地元住民・観光客等	日中	体験学習
瀬高区	公民館・広場	地元住民	季節を問わず	水遊び・夕涼み
	瀬高の浜（アガリバマ）	地元住民・地区外住民・観光客等	夏・GW	ビーチパーティー・キャンプ・サーフィン・釣り
	役所前の浜（メーバマ）	地元住民	夏	水遊び・潮干狩り
豊原区	地区会館・多目的広場	地元住民	通年	生活利用・行事
	浜（クンジダー）	地元住民・観光客等	通年	潮干狩り・水泳・行事
安部区	公民館脇の砂浜の広場	地元住民	常に（大潮時は夜間も）	子供達の遊び場・夕涼み・潮干狩り
大川区	集落センター	地元住民	たまに	生活利用・行事
	大浦川上流	県内の子供・家族	夏	水泳・魚獲り・バーベキュー
大浦区	集落センターと周辺	地元住民	通年	生活利用・行事
	大浦湾沿いの公園	子供	たまに	遊び
	大浦湾の浜	地元住民	夏	海水浴
	大浦湾沿いの岩場や橋の下	地元住民・地区外住民	通年	磯釣り
	大浦のマングローブ林	観光客等	通年	カニ獲り・カヌーツアー
辺野古区	辺野古近隣公園	地元住民	たまに	散策等
	憩いのゴルフ場	地元住民	たまに	ゴルフの練習
	アサギ	地元の子供	通年	遊び場
	根神屋	地元住民・地区外住民	通年	参拝
	9班公園・2班公園	地元住民	通年	遊び場・散策等
	運動公園	地元住民	通年	野球・ソフトボール・サッカー
	リーフ	地元住民・地区外住民	冬・夏	潮干狩り・漁
汀間区	地区会館前・広場	地元住民	通年	散策・休憩・行事
	汀間川河口	地元住民・地区外住民	通年	釣り
三原区	公民館前	地元住民	通年	生活利用・行事
	福地川	地元の子供・観光客等	夏休み	リバーウォッチング
二見区	ゲーヤの滝・志根垣の滝	地区外住民・観光客等	特になし	普段は立ち入らない
	二見海岸	地元住民	通年	潮干狩り・釣り
	楚久川河口の公園	地元住民	通年	休憩・ゆんたく

(ウ) 主要な眺望点の選定

ア) 陸上部

主要な眺望点は、前項で示した文献調査及び現地踏査、各区長へのヒアリング調査結果などからの情報を基に、眺望利用が想定される場所で、「景観資源の状況調査」の対象とするいずれかの景観資源を主たる眺望対象とする地点であり、かつ対象事業実施区域が視認される場所であることを基本としました。

表-6. 20. 1. 16 「景観資源の状況調査」の対象とする景観資源一覧

①	名護岳
②	久志岳
③	石岳
④	一ツ岳
⑤	辺野古岳
⑥	平島
⑦	長島
⑧	安部オール島
⑨	瀬嵩区のフクギ、モクマオウ、ホルトノキ
⑩	大浦御嶽のイタジイ林
⑪	大浦のアサギ庭のガジマル
⑫	大浦のマングローブ林
⑬	久志公民館のガジマル

各景観資源の視認可能域を図-6. 20. 1. 15～図-6. 20. 1. 27に示しました。視認可能域は、視点高 1.5m の視点場から理論的に視認できるエリアのことであり、「数値地図 50m メッシュ (標高)」(国土地理院)を用いて、「ArcView3.2」(ESRI)にて視認可能域を算出しました。ここで示す視認可能域はあくまでも理論上のエリアであり、実際の視認可能域よりも広いエリアが算出され、景観資源の大きさや距離、障害物の有無等によっては視認できないことがあるため、主要な眺望点設定に際しては、現地にて景観資源の視認の有無を確認しました。

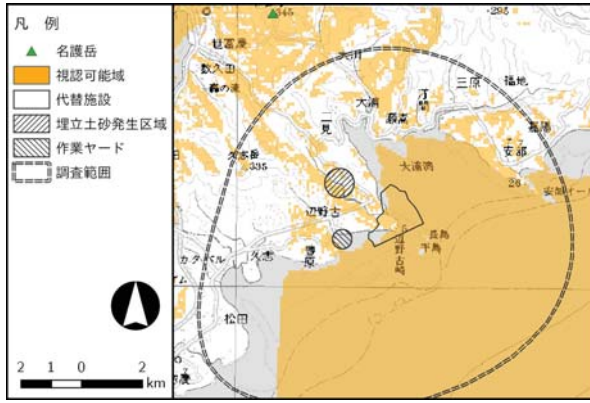


図-6.20.1.15 名護岳

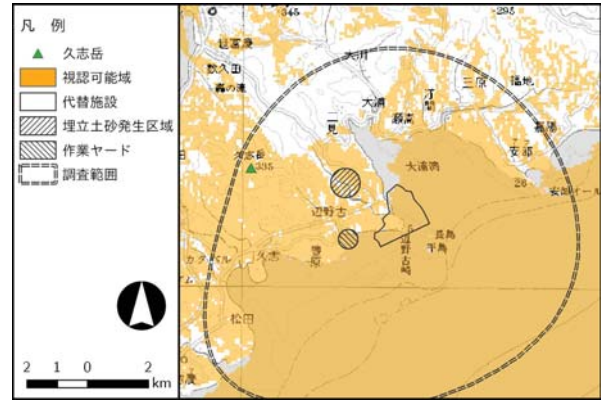


図-6.20.1.16 久志岳

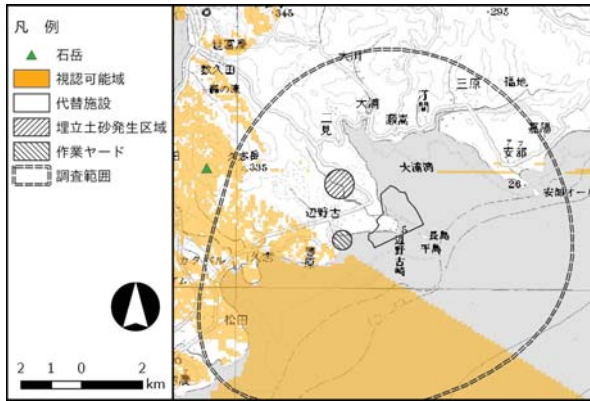


図-6.20.1.17 石岳

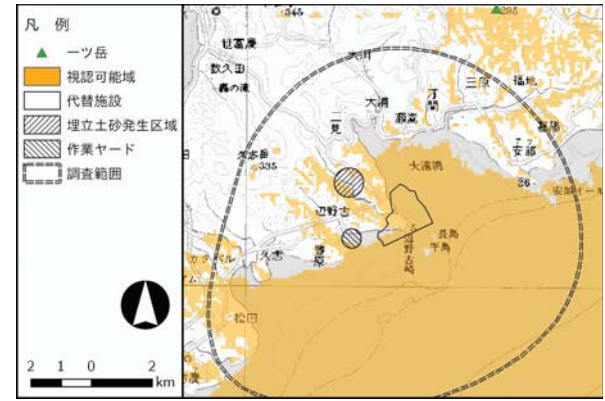


図-6.20.1.18 一ツ岳

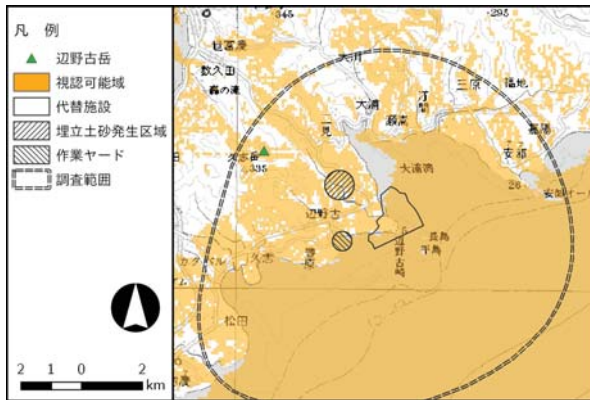


図-6.20.1.19 辺野古岳

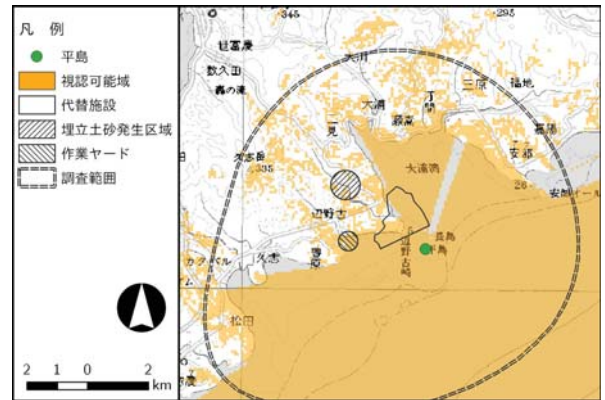


図-6.20.1.20 平島

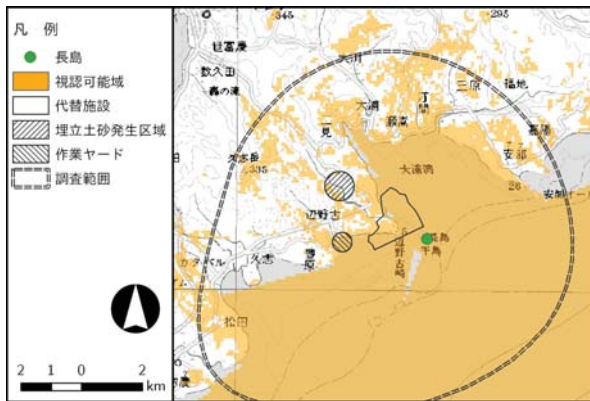


図-6.20.1.21 長島

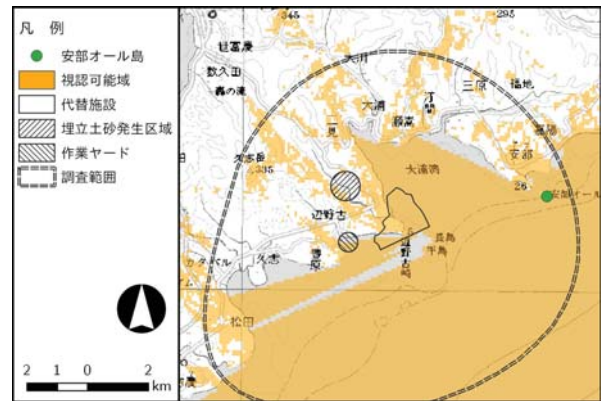


図-6.20.1.22 安部オール島

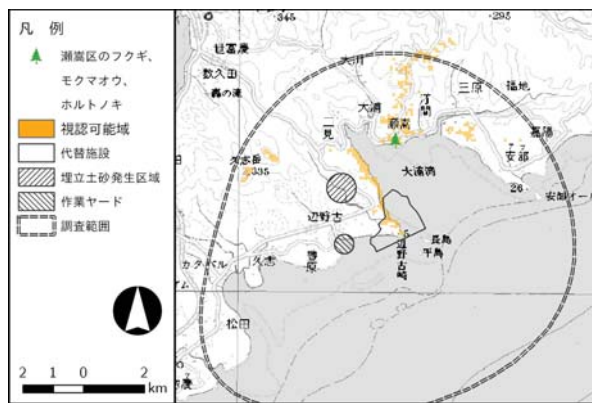


図-6. 20. 1. 23 瀬高区のフキ・モクマウ・ホルトノキ

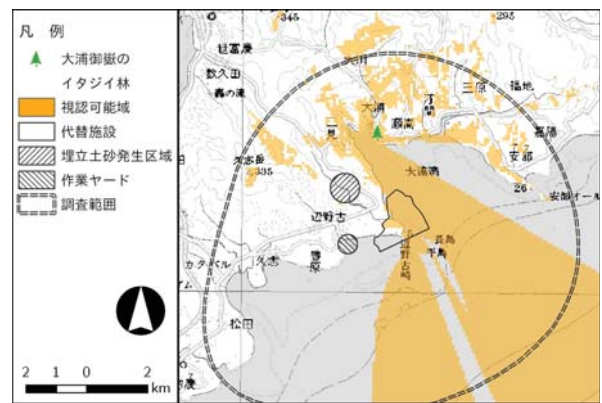


図-6. 20. 1. 24 大浦御嶽のイタジイ林

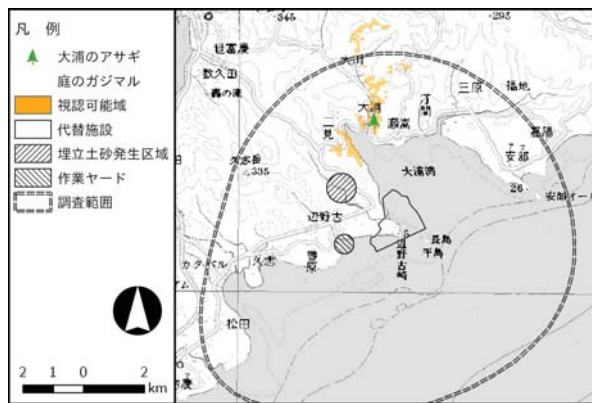


図-6. 20. 1. 25 大浦のアサギ庭のガジマル

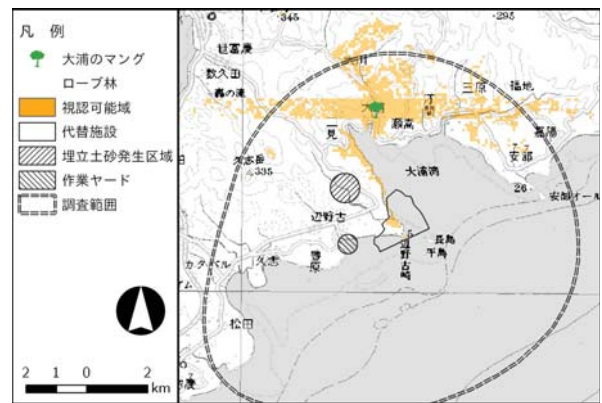


図-6. 20. 1. 26 大浦のマングローブ林

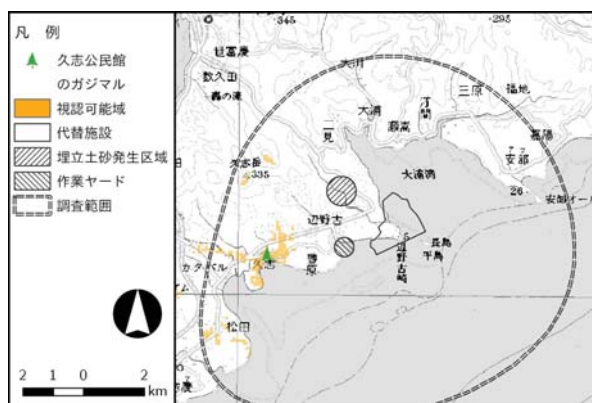


図-6. 20. 1. 27 久志公民館のガジマル

これらの各景観資源の視認可能域を踏まえ、いずれかの景観資源と対象事業実施区域が同一画角に入る地点を抽出しました。設定した主要な眺望点一覧を表-6. 20. 1. 17に、主要な眺望点位置図を図-6. 20. 1. 28に示しました。

表-6. 20. 1. 17 主要な眺望点及び視点場の選定結果

No.	地 点 名	主たる眺望対象
1	安部崎	平島、長島
2	カヌチャベイホテル& ヴィラズ	平島、長島、久志岳、辺野古岳
3	カヌチャビーチ	長島、久志岳
4	嘉手苧橋	長島
5	汀間漁港	長島
6	瀬嵩の浜	平島、長島
7	役所前の浜	平島、長島
8	大浦川河口	大浦川河口
9	楚久川河口	平島、長島
10	二見海岸	大浦御嶽のイタジイ林、長島
11	米軍施設内広場 1	平島
12	米軍施設内広場 2	平島、辺野古崎周辺海域
13	米軍施設内サッカー場	辺野古崎周辺海域
14	米軍施設内広場 3	辺野古崎周辺海域
15	米軍施設内ビーチ	長島、安部オール島
16	辺野古前上原公園	辺野古川河口、平島、長島
17	辺野古の浜	辺野古漁港周辺海域、平島、長島、安部オール島
18	加知味崎	平島
19	瀧原の干潟	平島、長島
20	ヒーピー海岸交流広場	平島、長島、一ッ岳
21	松田農村公園	平島、長島、安部オール島
22	国際交流センター	平島、長島、安部オール島

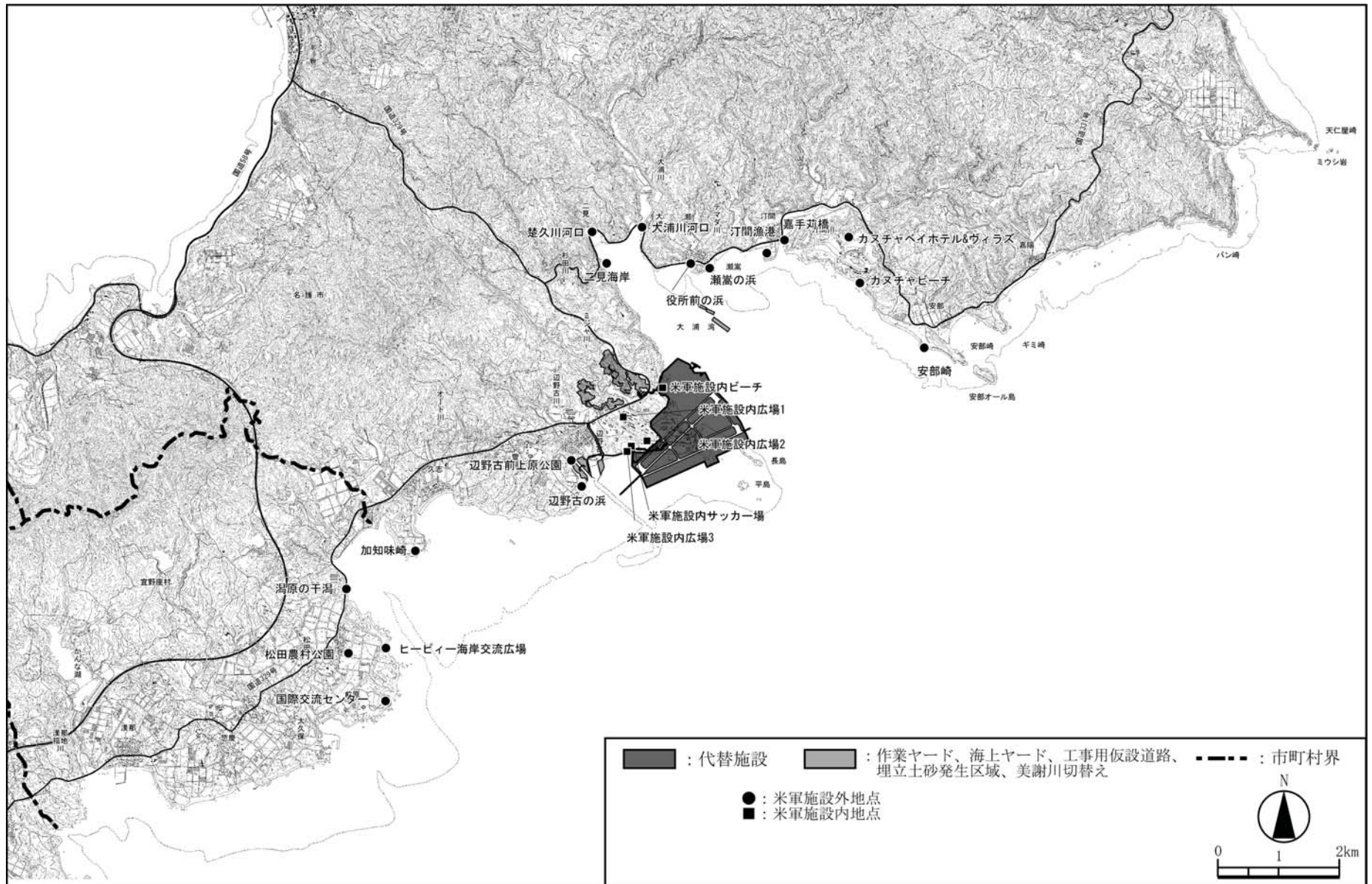
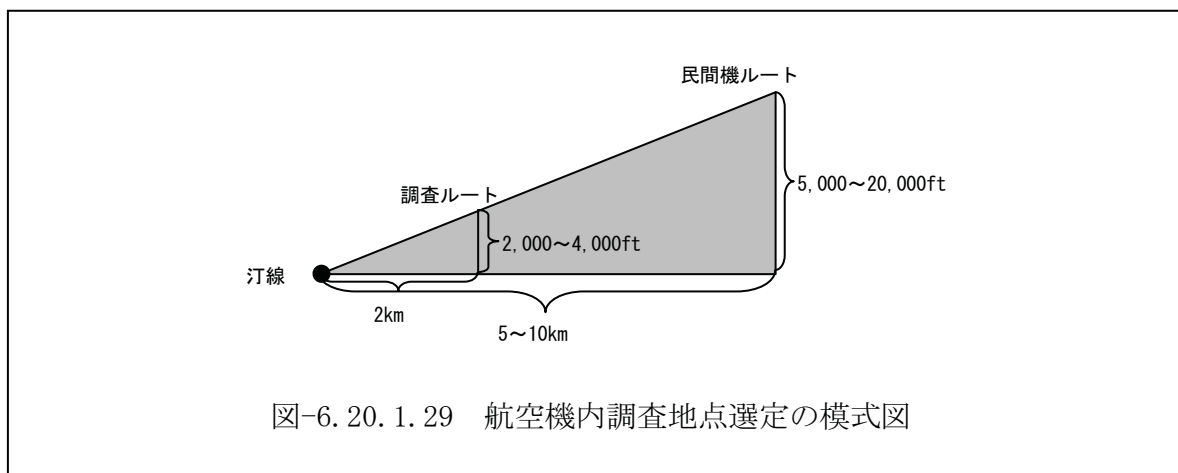


図-6.20.1.28 主要な眺望点及び視点場（平成19年度）

イ) 航空機内

那覇空港管制塔へのヒアリングにより確認した民間航空機の想定ルートと想定高度を基に、調査地点を設定しました。

民間航空機の想定ルートは汀線から 5～10km、想定高度は 5,000ft 以上 20,000ft 未満とし、調査に使用する機体の上昇能力を勘案して、調査ルートは汀線から 2km、想定高度は 2,000ft 以上 4,000ft 未満とし、民間航空機からの眺望と同様の視野角が得られるようにできるだけ広範囲の撮影を行いました。



調査地点は調査ルート上に設定し、近景（代替施設から 3km 未満と設定、調査地点 3・5・6）3 地点、中景（同様に 5km 未満と設定、調査地点 8）1 地点、遠景（5km 以上、調査地点 1・2・9・10）4 地点を設定しました。また、代替施設完成後の米軍機からの着陸時、離陸時の視野を勘案した地点についても各 1 地点（調査地点 4・7、高度 1,000ft）設定し、合計 10 地点としました。調査地点を図-6.20.1.30に示しました。

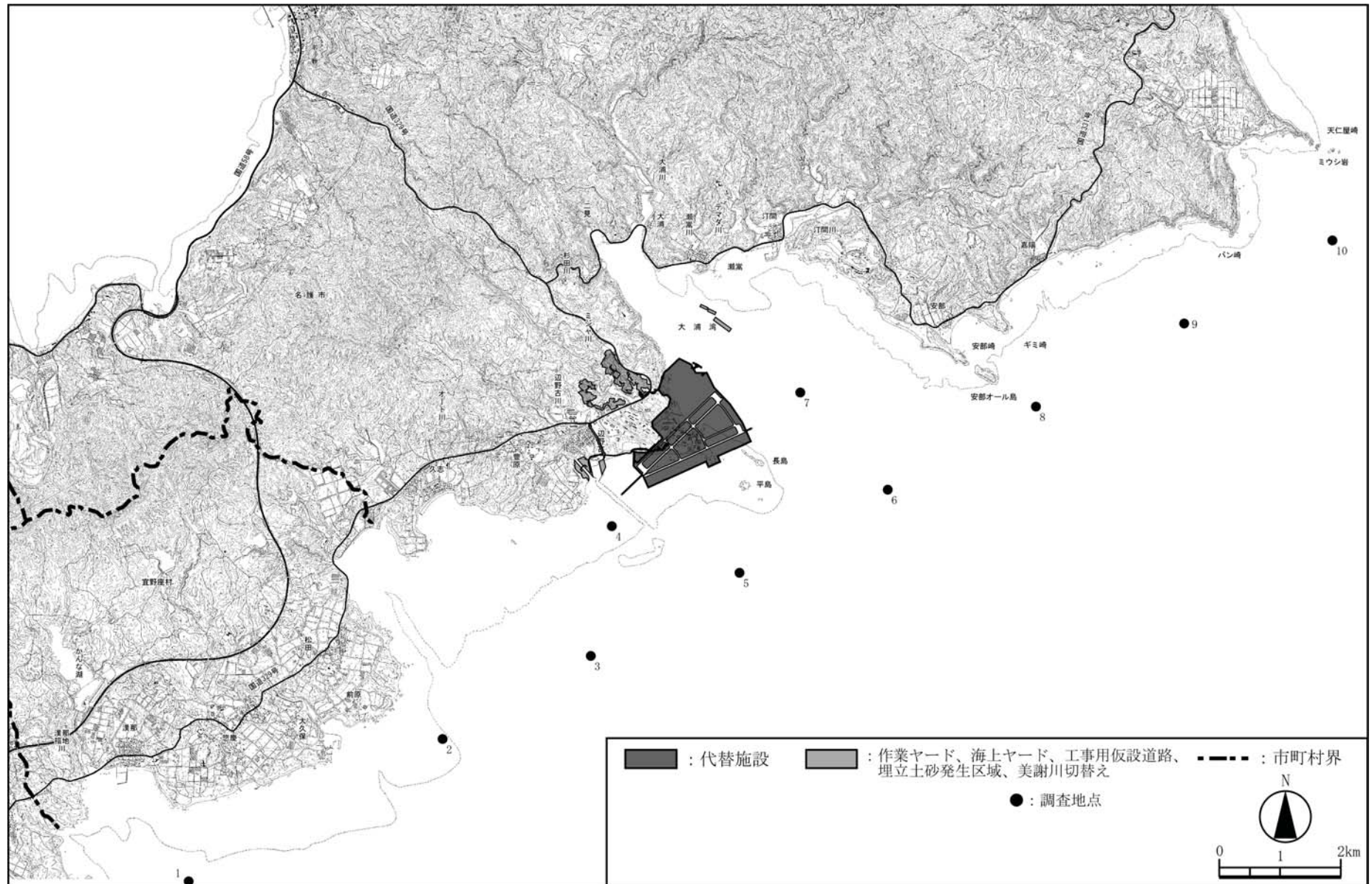


図-6. 20. 1. 30 航空機からの調査地点（平成 19 年度）